

十日町市

10 Kamagari

ぎ"かい
だより

令和5年11月10日発行

トシボの休憩

(写真：十日町総合高校写真部)



CONTENTS

No. **79**

令和4年度決算審査	2-3P
一般質問	4-9P
議会をPick-Up!	10P
議案の審議結果	10-11P
政務活動費による活動	12-13P

令和4年度 市の決算

令和4年度各会計収支

		歳 入	歳 出
一般会計		394億3,808万円	375億9,263万円
特別会計	国民健康保険	51億 505万円	49億4,302万円
	国民健康保険診療所	2億2,402万円	1億7,205万円
	訪問看護	3,691万円	3,239万円
	後期高齢者医療	7億4,058万円	7億2,827万円
	介護保険	78億4,764万円	75億3,047万円
	松之山温泉配湯事業	1,618万円	1,469万円

一般会計と特別会計の歳出合計 510億1,352万円

一般会計の前年度比

歳入 ▲8.0%
歳出 ▲9.3%



令和4年度決算の詳細は、「市報とおかまち10月10日号」に掲載されています。



最終日に行われた決算審査特別委員長の審査報告のうち、主なものを掲載します。

定例会最終日に委員会の審査内容が報告され、認定、不認定の議決を行います。

議会は、決算審査特別委員会を設置し、これに付託し、3つの分科会に分かれて詳細に審査します。

令和4年度決算を認定

毎年度、9月定例会初日に市長が前年度の一般会計、特別会計、企業会計の決算認定に係る議案を議会に提出し、議会は予算が目的に沿って効果的、効率的に執行されたかなどを審査します。

◆一般会計

歳入 少子高齢化、人口減少などにより、今後も一般財源の減少が見込まれる状況にあります。地域経済活性化の促進、市有資産の有効活用、観光振興などにより、直接的・間接的な収入を増やすと共に、当市の多くの魅力を広げ、とおかまち応援寄附金、特に企業版ふるさと納税の増収に向けたさらなる取り組みを望みます。

総務費 地域振興費について、若年層の減少と高齢化に伴う体力低下で、特に周辺地域の山間地では集落運営を維持することが困難になってきています。道路・側溝・集落運営の水道・防犯灯等、集落周辺のインフラの維持補修・運営などに対し、運営状況を丁寧に把握し、状況に応じた予算措置と臨機応変で柔軟な支援策のさらなる検討を望みます。



決算審査特別委員長
大嶋 由紀子 議員



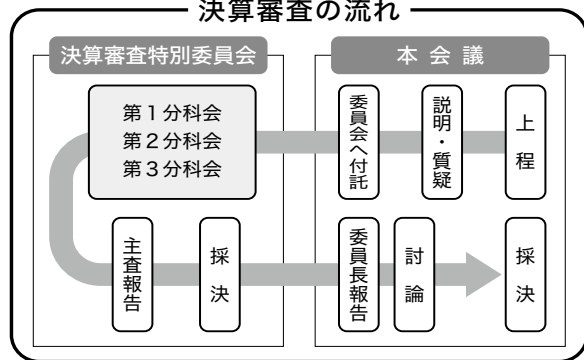
第1分科会

商工費 来年実施予定の大地の芸術祭9回展に関して、これまでの取り組み内容や効果を検証し、前回展を上回る集客に努め、

衛生費 少子化と人口減少が進む当該地域にとって、周産期医療体制の確立は欠かせません。県立十日町病院での分娩の取り扱いが休止となりますが、再開されるまでの間、たかき医院への丁寧な対応と支援を望みます。また、十日町病院の分娩が再開された場合には、十日町病院を核にした医療体制を望みます。

民生費 民生委員のなり手不足に対する施策の検討と、活動に対するさらなる支援の拡充を望みます。

決算審査の流れ



決算審査特別委員会って？

決算審査特別委員会は、鈴木一郎議長と高橋俊一監査委員（議会選出）の2人を除いた22人で構成されます。22人は第1、第2、第3分科会に分かれ、いずれかの分科会に属して審査します。委員長は選挙で選ばれます。



第2分科会

土木費 住宅リフォーム補助事業について、地域経済への波及効果が大きいことから事業の継続を望みます。なお、事業の継続に当たっては、省エネ化のみに特化することなく、高齢者、

市内産品や既存の市内宿泊施設を積極的に活用することにより市内の経済効果を高める取り組みを望みます。また、円安も相まって海外から多くの観光客が来市することが想定されます。台湾、タイをはじめ、当市の認知度向上に向けた集客策とともに、オーバートゥリズム対策など受け入れ体制についても取り組み、市民総出でお客様を温かく迎え入れることができる芸術祭になることを望みます。



第3分科会

障がい者、子育て世帯等、多様な世帯が安心して健康に暮らすことができる住環境整備への支援を望みます。

教育費 体育施設維持管理経費について、市民がスポーツ施設を安全かつ快適に利用できるように、市内体育施設の冷暖房等の空調設備未設置解消に努めていただきたい。特に夏季における大会では、競技者の熱中症事故の防止など、競技者の安全確保に向けて万全の取り組みを講ずる必要がある、大会誘致に課題が生じている現状があることから、使用頻度の高い施設から早急に冷房設備の設置を望みます。

訪問介護特別会計

高齢化社会や介護予防の観点からも出向く医療の需要は高まっています。訪問看護ステーションの役割が重要となってくるため、訪問看護職員の拡充と持続する訪問体制づくりに努めていただくことを望みます。

水道事業会計

及び簡易水道事業会計

「新水道ビジョン」に基づく施設・設備等の修繕・更新工事の進捗について逐次市民に情報を公開し、水道料金の次回値上げについてのより深い理解を得るよう望みます。



討論



詳細は、9月定例会最終日の録画中継をご覧ください。



▼反対 決算に対する反対討論

一般会計は財政が硬直化している。①大地の芸術祭は市内の経済効果、費用対効果の検証が必要。②農業の担い手減少、高齢化で後継ぎもいない。儲けがある農業、機械化、販路拡大、直売所支援を。③国保会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計に反対する。市民生活優先にすべき。
(滝沢繁議員)

●賛成 適正な予算執行を評価

本格的に始まるポストコロナの時代に何をすべきかを探求し、多くの人々から選ばれ住み継がれる魅力にあふれた十日町市の実現に向け、財政状況に配慮した施策が実施されました。多くの施策が目的どおりの成果を上げ、さらなるまちづくりの発展につながっていることを評価します。
(根津年夫議員)

ココが聞きたい! 一般質問

一般質問は、議員個人が問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、11人が私たちの生活に関わることについて質問をしました。

質問議員	質問事項	ページ
星名大輔	高齢者や障がい者等の避難行動支援について	4
山口康司	市の遊休施設、民生委員協議会、民生委員について	5
関口立之	移住支援事業について	5
大嶋由紀子	県立十日町病院分娩休止について	6
水落静子	2024年に行われる第9回大地の芸術祭について	6
富井 春美	マイナ保険証について	7

質問議員	質問事項	ページ
嶋村真友子	市民全員参加で、支え合う子育てを!	7
滝沢 貞親	「市民モニター」「市民プール」「プール開放」について	8
鈴木和雄	総括して市民主体の芸術祭へ地域と共にある学校づくりを	8
滝沢 繁	干害対策、防災対策について	9
吉村重敏	笹山遺跡に国宝感謝碑を、上越魚沼道路を魚沼謙信道路に	9

質問 近年の災害は、高齢者や障がい者に被害が集中しています。①災害時に自ら避難することが困難な市民について、避難行動要支援者名簿や個別避難計画を作成するとともに、それらの情報を関係者が共有して、避難行動の支援がなされるようになっていくか伺います。②情報共有の強化に向けて条例を制定する考えはあるか伺います。

答弁 ①外部提供に同意された方の名簿は、平時から地域防災計画に定める避難支援等関係者である十日町警察署、消防本部、民生委員、社会福祉協議会、保健所及び個人情報保護に関する確約書を提出した自主防災組織に提供しています。この名簿を日頃からの見守りや災害時に備えた要支援者との顔が見える関係づくりにご活用いただくようお願いしています。なお、外部提供に同意されなかった方の名簿については、災害対策基本法の規定に基づき、災害発生時などには避難支援等関係者に提供することとしています。災害時における円滑かつ迅速な避難支援を行うためには、地域で支え合う体制づくりがより重要となります。まずは、自主防災組織を中心に避難行動要支援者名簿などをご活用いただき、日頃からの見



高齢者や障がい者等の避難行動支援について

星名大輔 議員



守りや地域内での声かけなど、地域で支え合う体制の強化を図っていただきたいと考えています。②十日町市にはこうした条例の定めはなく、外部情報提供に同意をいただいた方の情報のみを提供させていただいています。どのように今後対応していくかは非常に重要な論点だと思っています。同意をしないという明確な意思表示がない限りは、平時から名簿情報を避難支援等関係者と共有できるようにする方向で、市独自の条例制定を検討してまいりたいと思います。



助け合う地域づくり



市の遊休施設、民生委員協議会、民生委員について

山口康司 議員



質問 近年、学校施設、教員住宅、スポーツ関連施設、公民館等使われていない建物が多く見受けられ、今後も増えていくと思われます。利活用、解体など、どのように対応しますか。

答弁 施設の状態を勘案した上で、利活用が可能な場合は再利用し、老朽化などにより利活用が困難な場合には取り壊すものとしています。また、整理できる施設は、順次売却や解体を進めています。具体的には、平成30年度から昨年度までの5カ年で7施設を売却、27施設を解体、2施設を譲与しました。なお、現在、普通財産に分類している施設は38施設あり、そのうちの34施設は民間への貸し出しや、市が防災物品の倉庫等として利用しています。

質問 昨年、民生委員の改選が行われましたが、選出には難儀された地区もあったと聞いています。なり手不足の問題、ボランティアとして活動費も少なく仕事量は増え、高齢化も進み、先行きが懸念されます。民生委員協議会、民生委員へのさらなる支援、協力を要望いたします。

答弁 市内に9地区ある法定の地区民生委員児童委員協議会に対し、県からそれぞれ所属する委員数に応じた活動

費の負担金が支給されます。また市全体を一つにまとめた十日町市民生委員児童委員協議会に対し、市から負担金として363万円の支出をしています。これを原資とし、委員の資質向上のための研修や地区民生委員児童委員協議会への活動費の支給を行っています。民生委員、児童委員個人への支援については、県から委員に対して活動に係る実費として年間6万2千円支給されています。市からは、高齢者の現況調査や敬老祝い金の配布、日頃の相談対応や見守り活動をお願いしており、年額6万円を委託料として支給しています。

市民の見守り



移住支援事業について

関口立之 議員



質問 「ポストコロナ」という新しい時代に合致した移住支援事業の展開について次のように質問します。①コロナ禍前後で当市への移住者の属性などの変化はないか②今年度より始まった移住支援事業「十日町市複合協同組合TOMOWORK」の概要、設立の経緯、利用状況などについて伺う。③移住者向けの住まいとして空き家を利用したシェアハウスを提供する事業など、「TOMOWORK」以外に新規事業の展開は考えられないか。

答弁 ①昨年度実績では、Uターンが6割、Iターンが4割、世帯構成では単身者の移住が6割、家族が4割となっています。年齢別では30代が一番多く、続いて20代や10代未満となっており、お子さんを持つ若いご

家族の移住が多い傾向となりました。②今年4月に設立され、6月に事業を開始したTOMOWORKは、季節ごとに労働需要が異なる複数の事業者等へ組合の職員を派遣する、県から認定を受けた特定地域づくり事業協同組合です。この組合職員はマルチワーカーと

して年間を通じて雇用され、安定した雇用環境を得ることができ、また派遣先の事業者にとっても、新たな担い手の確保が期待されます。民間有志による地域産業の担い手を確保したい、移住者の新たな就職先を増やしたいという思いと令和2年施行の特定地域づくり事業推進法の趣旨が合致したことから、設立に向けて動き出したと伺っています。派遣先となる組合員は、農業、除雪、介護など10の事業者であり、派遣される職員にはIターン者もあり、移住者の新たな働き口として成果が出始めています。③市として今のところ考えてはいませんが、空き家を持つという方がそういった挑戦をしてくれるとありがたいと思います。





県立十日町病院分娩休止について

大嶋由紀子 議員



質問 ① 分娩休止について県からの話を聞き、市長の感想及び今後の周産期医療を守るため、たかき医院への具体的な支援について伺います。② 今回の件は休止であります。休止と廃止の意味をどのように捉えていますか。③ 十日町病院の吉嶺院長の熱い言葉を市長はどのように受け止めましたか。④ 記者会見で分娩対応再開を働きかけていく可能性を示唆すると述べております。これは休止です。廃止ではありません。市長最後に一言お願い致します。

答弁 ① 県立十日町病院における分娩休止については、深刻に受け止めており、当市における周産期医療を守っていききたいというこれまでの思いを改めて強くしたところです。現在十日町病院とたかき医院は今後の具体的な運営体制について、新潟大学と共に話し合いを継続していると伺っています。市といたしましては、引き続き現場や関係者の意見を伺いながら、これまでの支援策だけにとどまらず、周産期医療の維持、存続に向けた新たな支援策も検討してまいりたいと考えています。

② 廃止は「分娩はもう今後行わない」休止というのは「今後再開も可能性はある」と認識しています。③ 責任ある



厚生常任委員会に対して県担当、十日町病院長からの説明

十日町病院の院長というお立場で、将来的に可能性があるということだと言っていたいただいているのは、非常にありがたいと思います。④ 十日町病院に対するこの地域の信頼というのは非常に厚いものがあります。せっかく県立十日町病院という形で存続できたわけですので、この大事な病院、そして大事な診療科、もちろん産婦人科もですが、それぞれしっかりと、守っていききたい、こう思っています。



2024年に行われる第9回大地の芸術祭について

水落 静子 議員



質問 第9回大地の芸術祭の進捗状況をお聞きします。

答弁 作品の展開は、今年1月から6月の間に市内33地区、133の集落や町内会を対象としたアンケートの実施と、12地区、13の集落や町内会、団体を対象にヒアリングを実施し、現状や芸術祭に対するご希望などを伺っています。一方、作品の選定は、昨年12月に実施した公募で137人、139の作品の応募がありました。現在、北

川総合ディレクターによる参加作家の選定が進められており、最終的には地域と作家とのマッチングが行われ、作品展開する地域を確定する予定です。

質問 開催に向け地域を盛り上げるための施策をお聞きします。

答弁 大地の芸術祭は、地域、世代、ジャンルを超えた協働による作品づくりなどを通じて、地域を盛り上げることを目指しており、第9回展に向けて、希望する地区や集落と作家が関われる仕掛けを行うなど、交流の機会を創出していきます。

質問 お土産などの芸術祭向け新規事業は計画しているかお聞きします。

答弁 以前から新商品開発を支援し、令和元年以降8件の商品が開発されて



大地の芸術祭との地元コラボ商品

おり、芸術祭作品をモチーフにした木工品や来訪者をターゲットにしたドリンクなど、芸術祭が好影響を与えた商品があります。

質問 地元向けパスポートなど、児童・生徒・地域住民が楽しく芸術祭を回る仕組みがありますか。

答弁 地域の魅力を再発見いただけるよう計画し、準備を進めていきます。

質問 第9回展を迎え、十日町市の今後の展望をお聞きします。

答弁 地域創生の大きな取り組みの一つとして皆さまの期待に応えられるよう、しっかりと準備してまいります。



マイナ保険証について

富井春美 議員



質問 マイナ保険証のトラブルが多岐にわたると言われていますが、①当市のマイナ保険証の割合とその使用率はどのようになっているか。②当市のトラブルの状況と、全国的なトラブルには何があるか。③トラブルが起きた時の対処法は。

答弁 ①マイナ保険証の登録状況は、全国全ての保険では53・4%、十日町市が管理する国民健康保険では52・4%、後期高齢者医療保険では45%です。医療機関でのマイナ保険証の使用率は国の報告によると5〜6%となります。②市で管理している国民健康保険被保険者証と、後期高齢者医療被保険者証とも誤りはありません。全国ではひもづけ誤りにより他人の情報が登録、医療機関の窓口で資格確認ができない、読み取り機の不具合、マイナ保険証以外では本人名義以外の口座登録などがあります。③保険資格が確認できず10割負担になった場合は、医療機関の窓口で本人から申し出てもらいます。現在は保険証での対応も可能です。

質問 マイナ保険証の更新の仕組みについて聞きたい。

答弁 マイナンバーカード（マイナ保険証）の更新は、5年ごとに暗証番号

の更新、10年ごとにカード本体の更新が必要になります。更新時期になると国から通知が送られます。

質問 マイナ保険証のトラブル等がある状況下では、健康保険証を今まで通り継続させるべきと考えるがいかがか。

答弁 マイナンバーカードをお持ちでない方、持っていない方もマイナ保険証に登録されていない方には、資格確認書が自動的に交付されます。国にはできるだけ早く安心して利用できる環境を整備してもらい、マイナ保険証を持たない方の受診が不利にならないよう国の配慮も必要と考えています。

国民健康保険証

新潟県	国民健康保険証	被保険者証	有効期限	令和6年7月31日
記号・番号			十日町市	12345678(枝番)09
氏名	トオカマチ	タロウ	性別	男
生年月日	令和〇年〇月〇日			
世帯主氏名	十日町市	太郎		
住所	新潟県十日町市〇〇〇123番地			
適用開始年月日	令和〇年△月△日			
交付年月日	令和5年8月1日			
保険者番号	* * 1 1 5 4 3 2 1			
交付者名	十日町市			

◆国民健康保険や後期高齢者医療制度の保険証は、有効期間が8月1日から7月31日までの1年間となっているため、新しい保険証は、**7月中に自動的に手元に送付される安心できるシステム**になっている。



市民全員参加で、支え合う子育てを！

嶋村真友子 議員



質問 MEGOS3カードのようなサービス第1子、第2子世帯からも受けたという声があるが。

答弁 子どもの人数にかかわらず、国基準より軽減した保育料の認定や、子ども医療費助成など、子育て全般についての支援をさせていただいています。

質問 ファミリーサポートセンター事業について、①病児の預かりができるのか。②提供会員に、退職者男性にも参加してもらうよう呼び掛けては。

答弁 ①軽度の病の子を一般の人が見られる範囲で預かっています。②子育て支援センターで預かるの中に常駐の専門スタッフが提供会員の研修や募集を行っております。退職した男性の取り組みも考えてみたいと思います。

質問 病児、病後児保育も訪問型に舵を切っていく必要があるのでは。

答弁 現在、訪問して保育するというよりも、少ないスタッフの中でそこに来ていただいて保育をするという形を取っています。病後児保育は、専門的な知識が必要であり、看護経験のある方の確保が重要なことだと感じています。今後、必要性や専門性に鑑み、検討していかなければならない問題であり、スタッフの確保が一番の課題であ

(11) ファミリー・サポート・センター事業の状況 (3-2-1-099)

区分	依頼会員	提供会員	両方会員	計
令和4年度	257	62	5	324
令和3年度	239	63	5	307

区分	活動件数
令和4年度	563
令和3年度	746

内容	回数
保育所・幼稚園の送迎援助	325
放課後児童クラブへの送迎・終了後の預かり	118
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の預かり	32
保護者等の病気、その他急用の場合の送迎・預かり	13
保育所・幼稚園の登園前後の預かりの援助	48
子どもの病気時の預かり	7
保護者等の外出時の預かり	9
小学校の送迎・預かり	11

令和4年度主要な施策の成果報告書から抜粋



「市民モニター」「市民プール」について

滝沢 貞親 議員



質問 多くの自治体ではITを活用した「市民モニター」で市民の意向を調査し、市政の判断材料としています。この件での新潟県内自治体状況と、今後十日町市としてどのように取り組むのかについて伺います。

答弁 県内の自治体に確認したところ、阿賀野市で市政モニターを実施しています。ITを活用した市民モニターは、リアルタイムに市民の皆さんの意見を聴くことができ、業務の迅速性や効率性の面からも有効であると考えています。一方、ITを利用できない方々の声を聞くことが出来ないことや、対象者の選定方法によつては調査結果が市民全体の意見を反映したものにならないなどの課題もあります。他の自治体の取り組みを参考にし、総合的な視点で研究していきます。

質問 多くの市民が期待していた「市民プール」が今年も営業されませんでした。営業再開の条件を伺います。また猛暑で各小学校「夏季休業中のプール開放」がフル稼働しなかったと聞いています。実施状況を伺います。

答弁 市民プールは、施設の老朽化が進み、大きな改修が必要な状況です。また、コロナ禍において監視員の増員

が必要となり、十分な人員の確保が難しい状況となりました。こうした要素が重なり、安全面に課題があるため、市民プールは令和2年度から休止しています。

市民プールの再開については、市内にある2箇所の市営プールと民間のプールなどの利用も視野に入れ、現状の課題や費用対効果など総合的に勘案し、適切に判断していきます。

小学校のプール開放は、市内17校のうち10校で実施しました。そのうち5校は猛暑や落雷等により一部開放を取りやめました。



「市民プール」の再開は?



総括して市民主体の芸術祭へ地域と共にある学校づくりを

鈴木 和雄 議員



質問 大地の芸術祭25年間を総括し依存型の芸術祭から市民主体へと進化すべきでないか。

答弁 来年開催する第9回展の総括報告書の完成後、地域やサポーター、関係省庁の声を聞くと同時に市民アンケートの実施など、全体的な総括を検討します。北川総合ディレクターへの過度の依存は駄目ですが、もうしばらく世話にならないかと感じています。北川さんの志を継いで十日町市民にこの取り組みが移植されていくことが大事であり、そういうことを意識していく段階に今はいると感じています。

質問 行政評価を着実にに行い市民の願いに応えた行政運営が基本ではないか。

答弁 26から27年度に、総合計画に掲げるいくつかの施策について行政評価に取り組んできました。その後、27年度に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が始まり、28年度からは、外部委員による評価を実施しています。これにより、同等の評価を実施しているものと認識しています。

質問 少子化と人口減少という課題に直面している中、なぜコミュニケーションなのか。

答弁 子どもたちの学びを充実させる

ため、教員以外の大人の力が不可欠であり、コミュニケーションの役割は大きいと考えています。

質問 学校運営協議会は、学校と地域作りの重責を担っている。課題解決の方策を共有し合うことで任を果たせるのではないか。

答弁 学校と地域の課題を出し合って話し合うことが大切です。熟議を重ね同じ目的やビジョン、願いを持つて教育活動に取り組むためにも、学校支援地域コーディネーターが要となり、学校と地域を円滑につないでいくことが重要であると考えています。

十日町市行政評価実施要綱

平成26年3月18日
十日町市訓令 第6号

(目的)

第1条 この訓令は、行政評価を実施するために必要な事項を定めることにより、行政評価の結果を市政に反映させ、市民の視点に立った効果的かつ活動的な行政経営を推進し、もって市民への説明責任を遂行することを目的とする。

中略

(基本方針)

第3条 行政評価は本市で取り組む様々な改革手法と連携を図りながら、常に行政活動の改善に努めるための仕組みの一つとして位置づける。

2 総合計画に基づく様々な行政活動の過程や、施策の効率性、効果等に関する評価結果を市民に対して公表し、情報の共有化を図る仕組みとして活用する。

中略

(内部評価)

第5条 内部評価の対象は、原則として総合計画の基本計画に規定された全ての施策とする。

以下略

※現在この要綱は、「総合計画の中で実施している」ことで廃止になっています。



干害対策、防災対策について

滝沢 繁 議員



質問 農業資材高騰で苦しむ中、ここまですてた稲が干ばつ被害に遭い、収穫量、品質が下がっています。今後、田の復旧作業も必要となりますが市長の考えをお聞きます。

答弁 市では、他の自治体に先駆けて渇水対策支援を行ってきました。農地の復旧についても県の支援を受け、補助率67・5%の十日町市干ばつ災害復旧事業を9月1日より実施しています。復旧事業費が県の基準に満たない場合でも、市が従来実施している災害復旧事業の活用が可能です。農地保全のため渇水対策支援や復旧支援を積極的に活用したいと思っています。

質問 十日町西断層の地震が想定される中、昭和56年以前の旧耐震基準の家の耐震診断や耐震改修工事を行うことにより、地震による被害を減らすことができると思うが、対策をどのように考えているのか伺います。

答弁 市では、地震に対する備えとして、旧耐震基準で建設された木造住宅の耐震化支援を行っています。耐震診断につ



猛烈な暑さと水不足は農家にとって大打撃をもたらした

ては、住宅の大小にかかわらず1万円の自己負担で行うことができ、耐震改修工事については100万円を上限に対象経費の2分の1を補助しています。

質問 原発再稼働の動きがあるが、大雪時に原発事故が起きた場合の避難経路の除雪について、除雪業者との契約は確実にされているのか伺います。

答弁 災害時を想定した契約とはなっていない。原子力災害時の除雪作業を誰が担うのかという課題を引き続き国や県に対し、しつかり検討し解決策を示すよう求めていきます。市民の皆さまの安全を最優先に避難計画の実効性向上に努めます。

笹山遺跡に国宝感謝碑を
上越魚沼道路を魚沼謙信道路に

吉村 重敏 議員



質問 国宝指定に貢献した岡本太郎と梅原猛に感謝する碑を笹山遺跡に建立を提案。国宝所有自治体の使命では。

答弁 令和6年6月には、笹山遺跡出土品の国宝指定25周年を迎え、これを記念して、お二人の功績を紹介する企画展を計画しています。また、笹山遺跡では、この企画展と連動した解説パネルなどの設置を検討中です。

質問 縄文体験活動で学ぶ日本文化の起源とは何か。具体的に伺う。

答弁 衣食住生活の衣に関しては、縄文時代にカラムシ素材のアンギンが、当地で編まれていました。この伝統は、後の越後編、現在の十日町織物に受け継がれています。食に関しては、山菜を食する、魚を獲るなどの狩猟採集生活が現在の雪国文化と共通しています。縄文人は自然と共生し、持続可能な社会を築いていました。この誇るべき思想を体験学習に活かしていきます。

質問 二つの日本遺産の進行状況はどうか。成果を伺う。

答弁 広域6市町で認定された信濃川流域の火焰型土器については、令和7年度の次回審査に向け、協議会の体制を強化しました。当市で単独認定の究極の雪国とおかまちは、市内事業者と

連携した各種事業を展開しています。

質問 上越魚沼地域振興快速道路について、①市民の期待を表す大看板を国道沿いに設置してはどうか。②上杉謙信関東遠征に深く関わっているこの道路の名前を魚沼謙信道路と提案する。

答弁 ①地域協議会や同盟会の中で検討が必要と考えていますが、事業促進のための取り組みを今後も進めていきたいと思っています。②沿線地域が持つ魅力発信につながるような道路の愛称や市民の声を反映していきたい。国土交通省ならびに県に働きかけていきたいと思っています。



中条公民館前の国宝モニュメント

9月定例会

● 議会をPick-Up!

令和5年第3回定例会
会期 9月6日～22日（17日間）
審議の結果は、10ページ下段から11ページに掲載

9月の定例会は、市長提出議案30件、請願1件、議会提出議案3件を審議しました。

Pick-Up 01 一般会計補正予算〔第5号〕

（主な事業および内容）

● U・イターン実現トータルサポート事業

今年8月に実施した「雪里留学体験ツアー」の応募者が多数であったことから、第二弾として県事業を活用した冬企画（2泊3日10組程度を予定）を開催します。

● 医療施設整備等支援事業

市内に新規に診療所を開設する医師に対し、施設整備費および設備整備費を補助します。



● 指定管理施設燃料費等

高騰支援事業
電気料等の高騰に対し、指定管理者の負担を軽減するため、支援金を給付します。



● 医療福祉総合センター管理運営事業

十日町病院に建設される雁木に合わせ、医療福祉総合センター側に雁木を建設し、病院雁木と接続することで、病院を往來する市民や患者、看護学生の利便性の向上を図ります。

● 省エネ家電等買換促進補助事業

家庭における電気使用比率の高い家電の買い替えを補助します。



● 清津峡観光案内所設置事業

清津峡に常設の観光案内所を整備し、市内観光スポットへの回遊性の向上を図ります。

Pick-Up 02 条例の制定・見直し

（主な内容）

● 十日町市里創プラン十日町ステージ条例の一部改正及び十日町市里創プラン十日町ステージ温浴棟条例の制定

回廊棟と温浴棟という機能が異なる建物で構成されている「越後妻有交流館（愛称…キナレ）」について、機能など実態に即した、より効率的な運営を行っていく必要が

あることから、それぞれを公の施設として独立させるための条例改正と、新たな条例の制定を行います。

● 十日町市立学校設置条例の一部改正

馬場小学校が令和7年3月31日をもって閉校することに伴い、馬場小学校の名称及び位置の規定を改めます。

Pick-Up 03 意見書の提出

議員が提出した次の意見書を可決しました。
内閣総理大臣をはじめ国の関係機関や国会に提出し、その実現を図るよう要望します。

● 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

● 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書



賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。（○：賛成、×：反対、－：欠席）
※鈴木一郎議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

議案番号等	議決結果	賛成	反対	かがやき					しん ちょう 伸 暢			令和の風					日本共産党 十日町市議団			しん せい かい 新 成 会				みつわ			無会派
				村山達也	富井高志	水落静子	関口立之	山家悠平	高橋俊一	鈴木祐一	吉村重敏	根津年夫	山口康司	星名大輔	大嶋由紀子	遠田延雄	鈴木和雄	滝沢繁	富井春美	福崎哲也	中林寛暁	宮沢幸子	小嶋武夫	嶋村真友子	小林正夫	滝沢貞親	鈴木一郎
120	認定	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	※		
121	認定	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	※		
124	認定	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	※		
125	認定	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	※		

9月定例会 議決結果

議案番号等	件 名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長提案	101 専決処分の承認（令和5年度十日町市一般会計補正予算（第4号））	—	全員賛成	承認
	102 工事請負契約の締結	—	全員賛成	原案可決
	103 物品購入契約の締結	—	全員賛成	原案可決
	104 字の変更	—	全員賛成	原案可決
	105 十日町市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定	—	全員賛成	原案可決
	106 十日町市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	107 十日町市手数料条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	108 十日町市立学校設置条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	109 十日町市農山漁村地域就業促進施設条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	110 十日町市里創プラン十日町ステージ条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	111 十日町市里創プラン十日町ステージ温浴棟条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	112 訴えの提起	産業建設	全員賛成	原案可決
	113 十日町市印鑑条例の一部を改正する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
	114 令和5年度十日町市一般会計補正予算（第5号）	—	全員賛成	原案可決
	115 令和5年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	116 令和5年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	117 令和5年度十日町市水道事業会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	118 令和5年度十日町市簡易水道事業会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	119 令和5年度十日町市下水道事業会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
	120 令和4年度十日町市一般会計歳入歳出決算認定	決算審査特別	賛成多数	認定
	121 令和4年度十日町市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	決算審査特別	賛成多数	認定
	122 令和4年度十日町市国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定	決算審査特別	全員賛成	認定
	123 令和4年度十日町市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算認定	決算審査特別	全員賛成	認定
	124 令和4年度十日町市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	決算審査特別	賛成多数	認定
	125 令和4年度十日町市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	決算審査特別	賛成多数	認定
	126 令和4年度十日町市松之山温泉配湯事業特別会計歳入歳出決算認定	決算審査特別	全員賛成	認定
	127 令和4年度十日町市水道事業会計利益の処分及び決算の認定	決算審査特別	全員賛成	認定
	128 令和4年度十日町市簡易水道事業会計利益の処分及び決算の認定	決算審査特別	全員賛成	認定
	129 令和4年度十日町市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定	決算審査特別	全員賛成	認定
	130 令和5年度十日町市一般会計補正予算（第6号）	—	全員賛成	原案可決
請願	2 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担金制度堅持に係る意見書の採択を求める請願	総務文教	全員賛成	採 択
議会提出議案	15 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書	—	全員賛成	原案可決
	16 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担金制度堅持に係る意見書	—	全員賛成	原案可決
	17 議員派遣	—	全員賛成	原案可決

お知らせします!

令和5年度 政務活動費申請状況

十日町市では、市議会議員の市政に関する調査研究のために必要な経費の一部として、「十日町市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、交付申請を行った会派に対し、会派に所属する議員1人につき年額15万円を交付しています。令和5年度は次の会派が交付申請を行いました。

● 政務活動費交付申請一覧

会 派	所 属 議 員	交 付 額
令 和 の 風	根津年夫、山口康司、星名大輔、大嶋由紀子、遠田延雄	750,000 ^円
か が や き	村山達也、富井高志、水落静子、関口立之、山家悠平、鈴木一郎	900,000
新 成 会	福崎哲也、中林寛暁、宮沢幸子、小嶋武夫	600,000
日本共産党十日町市議団	鈴木和雄、滝沢 繁、富井春美	450,000
伸 暢	高橋俊一、鈴木祐一、吉村重敏	450,000
み つ わ	嶋村真友子、小林正夫、滝沢貞親	450,000
合 計		3,600,000

一部を紹介します。

※他の会派についても、順次掲載します。



令和の風

会派令和の風では、①石川県羽咋市の自然栽培の取り組みを視察しました。一般的に「有機」「オーガニック」の表示をするには、JAS認証が必要となり、面積等にもよりますが、毎年10万円前後の経費がかかります。『羽咋式自然栽培』の米は、肥料や農薬に頼らないブランド米として認知されており、認証にかかる経費も不要です。水田を濁して草の光合成を妨げるアイガモロボを導入して、除草の負担軽減を図っています。販路は道の駅、市内小中学校・保育園の給食の他、ふるさと納税の返礼品としても人気があります。環境にやさしい農法に共感して参入する地域おこし協力隊や移住者も現れています。次に、②埼玉県秩父市と東京都豊島区との連携事業を視察しました。森林が少ない自治体の中には森林環境譲与税の使途に困っている所があります。秩父市と豊島区は、荒川の上下流域の関係、長年の職員間の交流から、協定を締結して豊島区の森林環境譲与税を財源に、秩父市内の森林の一部を『としまの森』として整備しています。秩父市にとつては市有林の有効活用ができ、森林が少ない豊島区にとつては区民の環境教育の場などに利用できるのです、市区双方にメリットがあります。十日町市も都市部の友好自治体と有意義な連携ができる可能性があります。



農林業の現地視察



●政務活動費は次の経費に充てることができます。（十日町市議会政務活動費の交付に関する条例第5条）

【政務活動費使途基準】

項 目	内 容
調 査 研 究 費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に要する経費
研 修 費	会派が研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会への参加に要する経費
広 報 費	会派が行う活動及び市政について住民に報告するために要する経費
広 聴 費	会派が行う住民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
要請・陳情活動費	会派が要請及び陳情活動を行うために必要な経費
会 議 費	会派が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への参加に要する経費
資 料 作 成 費	会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資 料 購 入 費	会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
人 件 費	会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費
事 務 所 費	会派が行う活動に必要な事務所の設置及び管理に要する経費



政務活動費による活動の

かがやき

会派かがやきは今年7月に管外視察に行つて参りました。7月3日、京都伝統産業ミュージアムを訪れ、日本の伝統工芸や産業について学びました。ミュージアムは、74の伝統工芸品を展示し、それぞれの製造過程や現状を紹介しています。7月4日には、鳥取県大江ノ郷自然牧場を訪問し、養鶏業から多角的な事業への展開を視察しました。この牧場は、高品質な卵とB品卵の有効な利用を通じて地域経済に貢献しています。また、宿泊事業や廃校の再活用による地域振興にも取り組んでいます。

7月5日には、豊橋市こども若者総合相談支援センター「ココエール」を訪れました。このセンターは、子どもや若者への包括的な支援を提供し、専門職と民間団体との連携を強化しています。宿泊支援や家事・育児サポートを通じて地域の支援に貢献しています。

これらの視察から、伝統産業の保護と振興、地域資源の活用、若者支援に関する重要な教訓を得ました。他市の先進的な取り組みを十日町市に取り入れられるかどうか検討し、十日町市がより良いまちになるよう取り組んでいきたいと思ひます。



伝統工芸の視察

各種スポーツ大会に参加

9月9日に十日町総合体育館で開催されたユニバーサルボッチャ十日町CUP2023、10月9日に吉田クロスカントリー競技場多目的広場で開催された第19回市民スポーツ大会市長杯争奪ゲートボール大会に、十日町市議会議員有志でチームを編成し参加しました。



市長杯争奪ゲートボール大会



高齢者叙勲

根津東六さんが
旭日単光章を受章

平成7年の初当選以来、市町村合併後の4年を合わせて13年11月の長きにわたり十日町市議会議員として活躍された根津東六さんに、本年9月1日、旭日単光章が贈られました。

ラジオ「FMとおかまち」(78.3MHz)で
一般質問を放送しています！
一般質問をした当日、夕方7時から放送
していますので、ぜひお聴きください。

インターネットで 本会議の様子を配信しています！



本会議の模様を生中継・録画中継
しています。ホームページからア
クセスしてください。スマートフォン、
タブレットでも！

十日町市議会

検索



市議会の詳しい情報は、
十日町市議会のホームページを
ご覧ください



表紙写真について

今号の表紙は十日町総合高校の作品です。

十日町総合高校写真部



私たち十日町総合高校写真部は、3年2名、2年2名で
主に活動しています。今年度は、様々な撮影会に参加
したり、高文連写真専門部展に出品したりと、少しずつ
活動の幅を広げています。

あとがき

今年の夏は例年にならない酷暑
でした。田畑や畜産などへの
影響も大きく、私たちの生活
の仕方にも影響を及ぼしまし
た。これから冬に向かう時期
は、晴天の日が貴重になりま
すね。

さて、9月定例会は、決算
議会とも言われまして、令和
4年度の皆さまの税金が適
切、かつ効果的に使われてい
るか審査をしました。一般質
問は、市政に関わる皆さまの
身近な内容が盛り込まれてい
ます。関心のある内容を、ぜ
ひ一読してください。

編集委員会は、皆さまの
興味関心が持てるように知恵
を出し合い工夫に努めていき
ます。

(富井春美)

【お問い合わせ】

十日町市議会事務局

〒948-8501
十日町市千歳町3丁目3番地
市役所本庁舎3階

電話 025-757-3119
FAX 025-757-5999